

音に出逢える、 おとのか庵

おとのか-音の喜-

Soundelight-Sound+Delight-

「おとのか」とは、静寂のなかで、聞こえる音のひとつひとつを
じっくりしみ、音のもたらす喜びに気づく、和の手法です。

たとえばお茶の席では、その場の全員が亭主の所作に集中して
見入り、自然と静寂が生まれます。

その静寂の中に湯を注ぐ音や茶を点てる茶筌の音が響きます。

このとき私たちは所作に伴う音までをも楽しんでいるのです。

ししおどしや水琴窟、風鈴なども音を楽しむ和の工夫です。

茶や汁、麺などをすすっていただくことや、日本語にオノマト
ペが多いことも、音を楽しむ和の心のあらわれなのかもしれま
せん。

そこで私たちが提案するのは、この和の手法「おとのか」を言
葉で説明するのではなく、体験を通して理解してもらえる空間
です。

